

## リンパ節径計測に及ぼす CT 再構成厚の影響評価

### はじめに

悪性腫瘍の病期判断にリンパ節転移の有無の評価は欠かせません。転移の有無の判断には画像でのリンパ節の形態・内部性状に加えて大きさが重要です。CT や MRI などの画像を用いて対象物の大きさ（径）を評価する場合、画像を作成する範囲の大きさ（ $F O V$ ）<sup>エフオーヴィー</sup>や一画面をどれだけ細かく区切るか（Matrix）<sup>マトリックス</sup>は勿論ですが、データから画像を再構成する際の体軸方向の厚さが大きく影響すると考えられています。再構成厚と計測値の関連を明らかにすることが本研究の目的です。

### 研究対象

2019年3月1日～12月31日の期間に、結腸・直腸・肛門管の病変の術前評価のために本院で造影3D-大腸CT検査を施行された（される）患者さんを対象としています。

### 研究内容・患者さんに負担がない事

診療のために撮像されたCTのデータを利用して、画像を作る際の再構成厚の違いによって描出されるリンパ節の大きさがどう変化するかを評価する研究ですので、患者さんの負担はございません。

### 患者さんの個人情報管理

個人情報の漏洩を防ぐために個人を特定できる情報を削除し、データの数値化を行っております。本研究の実施過程および結果の公表の際には患者さんを特定できる情報は含まれません。

### 本研究のために診療データを提供されたくない場合

ご自分の診療データを本研究に活用されたくない場合は、CT検査施行後1か月以内に下記にご連絡ください。この場合も、その後の診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

### 研究期間・予定症例（検査数）・

病院長承認日から2020年3月31日 50例（50検査）

### 医学上の貢献

本研究成果は腫瘍等の正確な病期評価に役立つことを通じて、患者さんの予後改善・臨床医学の発展に貢献すると考えられます。

### 問合せ先

〒060-8543 北海道札幌市中央区南1条西16丁目

札幌医科大学附属病院 放射線診断学 研究責任者（問合せ先） 畠中正光

電話：011-688-9661（平日：9:00～17:00）

夜間・休日ファックス：011-633-6885（休日明けに連絡いたしますので連絡先を明記ください）